地域に広げる防災・減災活動

兵庫県立山崎高等学校

活動のポイント

地域と共に（地域性）

・オリジナルの「防災ガイドブック」を作成し、地元自治会全戸に配布した。
・自治会のふれあいサロンと連携を持ち、地域の方々と触れ合う機会を作ると共に、非常食の調理実習・試食会などの啓発活動も行っている。

オリジナリティ（独創性）

・家庭に関する専門学科の特色を活かし、栄養摂取に配慮した炊きだしメニューの考案をしている。
・山高街の駅を活用し、防災ワークショップを実施し、地域の方々の防災意識の向上につなげている。

自発的な活動（自主性）

・生活創造科２年生が中心となり、各自が高い意識と責任を持って活動を作り上げている。
・生徒が学校全体を動かすことで、生徒自身の誇りになっている。

活動を一過性にしないための工夫（継続性）

・学校設定科目として取り組んでいるので、毎年継続して行うことができる。
・１年生は、補助スタッフとして参加しているので、上級生から学ぶと共に来年度に向けてのモチベーションを高めている。

活動の様子

１年生プログラム　避難所体験・防災グッズ作り

新たに自衛隊の方に入っていただき、避難所体験を行いました。避難所での必要な係を考え避難所での生活について学びました。また、３人１組で段ボールいすや段ボールベッドを作成しました。

２年生プログラム　防災炊き出し

サツマイモご飯、にゅうめん、サバイバル飯炊き、カンパンとチョコでチョコクランチを作りました。エネルギー補給のできるお菓子や、身近にある空き缶を使って非常時でも栄養に配慮した炊き出しができることを学びました。エコノミークラス症候群の予防体操も行いました。

３年生プログラム　防災訓練

応急処置の方法や、毛布を使い簡単に作れる担架、煙体験、ロープの結び方を学びました。災害が起きたときに行動する力を身につけました。

防災ガイドブック作成

自分たちが防災体験活動で身につけた知識をまとめた防災ガイドブックを作成しました。みんなで学んだことを話し合い、まとめながらすべて手作りで行いました。情報が届きにくいお年寄りの方々にも、このガイドブックを通して防災への意識を高めていただければとの思いを込めたガイドブックです。